

応用データサイエンス学位プログラム

応用データサイエンス学位プログラムの教育研究上の目的及び人材養成の目的 ▶

ディプロマ・ポリシー ▶

📄 応用データサイエンス学位プログラムのディプロマ・ポリシー

カリキュラム・ポリシー ▶

📄 応用データサイエンス学位プログラムのカリキュラム・ポリシー

応用データサイエンス学位プログラム 修士課程 ▶

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置について
- 📄 4. 履修上の注意
- 📄 5. 開講科目一覧表
- 📄 6. 研究指導一覧表

応用データサイエンス学位プログラムの教育研究上の目的及び人材養成の目的

応用データサイエンスおよび関連分野の発展に寄与するとともに、データサイエンスに係る専門知識を実社会に応用・展開して、現代社会における多様な課題の解決に取り組み、人間社会の発展に貢献できる高度専門職業人の養成を目的とする。

ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー ▶

📄 応用データサイエンス学位プログラムのディプロマ・ポリシー

応用データサイエンス学位プログラムのディプロマ・ポリシー

本学位プログラムでは、応用データサイエンスおよび関連分野の発展に寄与するとともに、専門知識を実社会に応用・展開し、データサイエンスを用いて人間社会の発展に貢献できる人材の養成を目的に、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

(DP1)

応用データサイエンスおよび関連分野において最先端で活躍できる専門知識を身につけるとともに、新手法の開発や新分野の開拓をできる力

(DP2)

自らの専門分野に加え、それ以外の自然科学あるいは社会科学との学際分野も含めて広範に学ぶことにより、データサイエンスが人間社会や地球環境に与える影響などを多面的に捉える力

(DP3)

専門分野に関する課題について、データの収集、分析、活用まで幅広く実行できる力

(DP4)


自らの研究成果を論理的に整理して的確に伝え、特定課題研究としてまとめる力

(DP5)

研究課題の達成を通じて、実社会においてグローバルレベルで即戦力となり、データ活用社会を牽引する力

カリキュラム・ポリシー

カリキュラム・ポリシー

 応用データサイエンス学位プログラムのカリキュラム・ポリシー

応用データサイエンス学位プログラムのカリキュラム・ポリシー

本学位プログラムでは、ディプロマ・ポリシーに沿って、データサイエンスを様々な分野に応用し、データ活用社会を牽引する力を養成するために、データサイエンスの基礎知識やスキルおよびリテラシーや学術的な視点、実務に活用・応用できる実践力を習得するための幅広い専門科目を配置して、以下のようにカリキュラムを編成している。

(CP1)

データサイエンスの基礎から実践まで幅広い分野を俯瞰し、本プログラムで学ぶ内容の理解を促すための必修科目として「応用データサイエンス特論」を1年次春学期に配置する。

(CP2)

データサイエンスの基礎スキルやリテラシーの習得とあわせ、データを扱う上で配慮すべき倫理的側面の理解を促す講義・演習科目を1年次に配置する。

(CP3)

データサイエンスおよび関連分野に関する学術的な視点や専門知識および実務で応用するための視点やスキルを習得する講義科目を1年次に配置するとともに、それらの視点や知識・スキルを実社会で活用する力を養う必修科目として「導入演習」を1年次秋学期に配置する。

(CP4)

データサイエンスを応用した実例を体感し、データの収集、分析、活用等の実践力を習得するための実践系講義科目およびインターンシップ、学術的な応用力を養成するための様々な学問分野における分析手法や応用事例を学ぶ連携科目を2年次に配置する。

(CP5)

特定課題作成と口頭報告の能力を習得するための必修科目として、学術的なアプローチによる指導を行う「演習A」、それと並行して実社会での動向や事例を踏まえた指導を行う「演習B」を2年次に配置するとともに、両科目を横断する形での合同研究報告会を実施する。

(CP6)

研究を現実の社会問題に応用する力を習得するため、各専門科目においてディスカッションや演習を取り入れるとともに、関連学会への参加を促進する。

応用データサイエンス学位プログラム 修士課程

応用データサイエンス学位プログラム 修士課程 ▶

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置について
- 📄 4. 履修上の注意
- 📄 5. 開講科目一覧表
- 📄 6. 研究指導一覧表

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

【修了要件について】

[応用データサイエンス学位プログラム]

修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考(上限、その他)
総単位数	30		
・必修科目	12		
↳ 応用データサイエンス特論	2		
↳ 導入演習	2		
↳ 演習A-1	2		修了見込みがない場合(※注1)は、特定課題の着手が認められないため、演習A、Bの登録が見送られる場合がある。
↳ 演習A-2	2		
↳ 演習B-1	2		
↳ 演習B-2	2		
・選択科目	18		
↳ 自研究科科目			
↳ 他研究科連携科目			連携科目のうち修了要件に参入できるのは6単位まで
研究指導(必修)		2	単位なし、2年次以降(※注2)毎学期登録される。2科目以上合格すること。
特定課題			最終学期の履修登録期間に「特定課題」を必ず履修登録すること。 必要な研究指導を受けた上、特定課題を提出し審査に合格すること。

注1: ※単位修得や授業参加状況等が不芳な者

※他者との学びにおいて貢献意欲が欠如している者

注2: ※修了の見込みがない場合は、特定課題の着手が認められないため、研究指導の登録が見送られる場合がある。

※早期修了予定者は、1年次から毎学期登録される。

【特定課題審査基準】

- 1) 課題設定: 課題が明確で適切であり、データサイエンスを用いた対象分野に対する知見の発見や解釈、ないし課題解決のための提案等が提示されていること。
- 2) 専門知識の理解: 当該分野にかかる専門知識が十分に理解、修得されており、研究・分析方法が適切であること。
- 3) 分析の枠組み: 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 4) 理論的根拠: 仮説を検証するために独自に収集したデータ、新しい資料の発掘など論証方法に工夫をこらすことができること。
- 5) 先行研究の理解: 先行研究が適切に引用され、出展記載や引用が適切になされていること。
- 6) 倫理的配慮: 特定課題に用いたデータや資料、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。
- 7) 研究方法: データサイエンスの専門分野に関する深い理解に基づき、社会で生じる事象や問題を考察・分析、または解決手法等について提案したものであること。
- 8) 特定課題の構成: 構成、章立て、立証方法などをわかりやすく構成し整理され、説得力のある論理展開ができ、問題提起、途中の推論、結論を整合させ、自己の分析を総合的に記述することができる。

【特定課題審査基準】


1. 課題設定: 課題が明確で適切であり、データサイエンスを用いた対象分野に対する知見の発見や解釈、ないし課題解決のための提案等が提示されていること。

2. 専門知識の理解：当該分野にかかる専門知識が十分に理解、修得されており、研究・分析方法が適切であること。
3. 分析の枠組み：研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
4. 理論的根拠：仮説を検証するために独自に収集したデータ、新しい資料の発掘など論証方法に工夫をこらすことができること。
5. 先行研究の理解：先行研究が適切に引用され、出展記載や引用が適切になされていること。
6. 倫理的配慮：特定課題に用いたデータや資料、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。
7. 研究方法：データサイエンスの専門分野に関する深い理解に基づき、社会で生じる事象や問題を考察・分析、または解決手法等について提案したものであること。
8. 特定課題の構成：構成、章立て、立証方法などをわかりやすく構成し整理され、説得力のある論理展開ができ、問題提起、途中の推論、結論を整合させ、自己の分析を総合的に記述することができる。

【研究指導スケジュール】

事項	期日	対象	備考
研究計画書の提出	5月末	M2	特定課題を提出する年度に提出すること。演習A・Bの担当教員に提出すること。
特定課題の履修登録	9月下旬～10月上旬	M2	履修登録期間中に各自で履修登録を行うこと。
特定課題の要旨の提出	1月中旬	M2	
特定課題審査・口述試験	秋学期末	M2	

 書式や提出期限に係る詳細は、別に指示する。

 9月修了希望者は、上記に係る期日を別途指定するため、履修登録前に必ず指導教員に連絡をとり、スケジュール等詳細について確認すること。

2. 授業科目の編成・単位

授業科目の編成・単位_応用データサイエンス学位プログラム [応用データサイエンス学位プログラム]

科目名 (他)：他研究科連携科目	単位数		
	必修	選必	選択
応用データサイエンス特論	2		
導入演習	2		
演習A-1	2		
演習A-2	2		
演習B-1	2		
演習B-2	2		
プログラミングA(SQL)			1
プログラミングB(R)			1
プログラミングC(Python基礎)			1
プログラミングD(Python応用)			1
データエンジニアリング概論			1
データエンジニアリング実践			1
データサイエンス数学			2
データの可視化と分析			2
機械学習入門			2
深層学習の基礎と応用			2
データリスクマネジメント			2
情報通信産業とデータサイエンス			2
予測モデル構築			2
ピープルアナリティクス			2
プロセスマイニング原論			2
生産性と企業価値のマネジメント			2
AI倫理とバイアス			2
ビジネス最適化のための人工知能			2
マーケティング&コミュニケーション戦略マネジメント			2
ブランド戦略マネジメント			2
戦略思考と意思決定			2
政策・事業評価			2
市場と環境へのデータサイエンスアプローチ			2
ビジネスデータサイエンス入門			2
情報推薦とパーソナライゼーション			2
データサイエンスとイノベーション			2
計量経済学特論 I			2

授業科目の編成・単位_応用データサイエンス学位プログラム [応用データサイエンス学位プログラム]

科目名 (他)：他研究科連携科目	単位数		
	必修	選必	選択
計量経済学特論Ⅱ			2
計量経済学特論Ⅲ			2
テキストマイニング概論			2
高次元データ実用分析			2
知的財産の基礎と実践(特許になる発明の創作)			2
機械学習実践			2
自然言語処理と言語モデル			2
データドリフト変換			2
機械設計とデータ分析			2
コミュニケーションダイナミクス			2
変革型リーダーシップ			2
生成AI時代における「データ駆動型のリーン事業創造」			2
実務志向の因果的モデリング実践 ベイジアンネットワークと生成AI活用			1
データ活用の成功率・成果を高める課題設定手法:因果連鎖分析			1
生成AI概論およびビジネス応用			1
先端技術によるLLMシステム開発手法論			1
マーケティングリサーチによる消費者理解			2
データアナリティクス・AI実践			1
環境問題とライフサイクルアセスメント			1
データビジネス実践1(金融)			2
データビジネス実践2(通信)			1
データビジネス実践3(スポーツ・スポーツビジネス)			1
データビジネス実践4(製造)			1
データビジネス実践6(広告・メディア)			1
データビジネス実践7(コンサルティング)			2
データビジネス実践(メディア)			2
データビジネス実践(CX戦略に向けたデータ活用)			1
インターンシップ			2
ミクロ経済学特講Ⅰ(※)			2
ミクロ経済学特講Ⅱ(※)			2
統計学特講Ⅱ(※)			2
統計学特講Ⅲ(※)			2
応用計量経済学特講(※)			2

授業科目の編成・単位_応用データサイエンス学位プログラム [応用データサイエンス学位プログラム]

科目名 (他)：他研究科連携科目	単位数		
	必修	選必	選択
環境経済学特講(※)			2
数理経済分析特講 I (※)			2
数理経済分析特講 II (※)			2
財務会計論特講 I (※)			2
財務会計論特講 II (※)			2
経営財務論特講 I (※)			2
経営財務論特講 II (※)			2
経営戦略論特講 I (※)			2
経営戦略論特講 II (※)			2
マーケティング戦略論特講 I (※)			2
マーケティング戦略論特講 II (※)			2
製品開発論特講 II (※)			2
マーケティング・サイエンス特講 I (※)			2
マーケティング・サイエンス特講 II (※)			2
ワイヤレス通信工学(※)			2
COMPUTER SCIENCE(※)			2
センシングシステム工学(※)			2
データサイエンス特論(※)			2
マシンインテリジェンス(※)			2
数理最適化特論(※)			2
コンピュータグラフィックスとバーチャル・リアリティ(※)			2
経営情報分析特論(※)			2
視覚メディア処理特論(※)			2
情報理論特論(※)			2
機械設計法特論(※)			2

3. カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置について

下記の添付ファイルを確認すること。

カリキュラム変更に伴う新旧科目の対応と読み替え措置について [応用データサイエンス学位プログラム]

以下の表に対応する科目は同一科目と見なす。よって変更前年度以前に開講された科目を修得済みのものは、変更後の年度以降に開講する科目を重複して履修することはできない。

また、変更前の科目を未履修の者は、変更後の読み替え科目を履修すること。

変更後		年度	変更前		年度	備考
MADS7440	データドリブントランスフォーメーション	2024～	MADS7110	データドリブンマネジメント	～2023	重複履修不可
MADS7560	マーケティングリサーチによる消費者理解	2025～	MADS7230	データドリブンマーケティング	～2024	重複履修不可

4. 履修上の注意

1. 修了要件に必要な必修科目12単位を含む30単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに特定課題を作成・提出すること。
2. 修了要件に必用な選択科目18のうち、修了要件に含むことができる連携科目は6単位までとする。
3. 特定課題に着手することが認められた者は、「研究指導（必修）」を毎学期受けること。
4. 特定課題の履修登録については、課題を提出する学期の履修登録期間に必ず登録をすること。
5. インターンシップは、企業でのインターン実施後の翌学期に単位が付与される。そのため、インターンシップ参加学期をもって修了または退学した場合は、単位付与されず修了単位に参入することもできない。インターンシップの単位付与を希望する者は、単位付与を希望する学期の前学期中に応用データサイエンス学位プログラム事務室に所定書式を提出する必要がある。また、成績評価の評点は、P（合格と認められる成績を示したもの）またはX（合格と認められるに足る成績を示さなかつたもの）とする。

（早期修了希望者）

上智大学大学院学則第21条および応用データサイエンス学位プログラム早期修了制度運用細則に基づき、応用データサイエンス学位プログラムにおける早期修了について、以下のように定められている。

1. 早期修了とは、上智大学大学院の他研究科を既に修了した者で、応用データサイエンス学位プログラムに更に1年在学し、所定の手続きを経て、1年次終了時をもって修了することである。
2. 早期修了の認定を受けるには、次に掲げる要件を満たしていること。
 - ア) 上智大学大学院の他研究科（博士前期課程（修士課程を含む）または博士後期課程）を学位プログラム入学前に修了した者。博士後期課程については、満期退学者も含む。
 - イ) 本人が第2条で定める早期修了を希望しており、入学前に審査を受け承認された者。
 - ウ) 早期修了において、修了に必要な履修上の要件をすべて満たし、所定の授業科目の単位を修得済みであること。
 - エ) アで定める他研究科修了時GPAが3.0以上であり、かつ修士論文の成績がAである者。
3. 早期修了を希望する者は、早期修了申請書（書式自由）に指導教員の承認印を受けて、これを運営委員長宛てに提出しなければならない。なお、早期修了申請書の提出は、1年次春学期の履修登録前までに行わなければならない。
4. 申請取り消しを希望する場合は、1年次秋学期の履修中止期間中に、早期修了申請取消願書（書式自由）に指導教員の承認印を受けて、運営委員長宛てに提出しなければならない。

5. 開講科目一覧表

開講科目担当表【応用データサイエンス学位プログラム】

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MADS1010	春	応用データサイエンス特論	ADS501-79J00	2	伴 果純、他		輪講
MADS1020	秋	導入演習	ADS502-79J00	2	百瀬 公朗 大原 佳子 小林 裕亨 伴 果純 深澤 佑介		複数回担当
MADS2101	春	演習A-1	ADS601-79J00	2	大槻 東巳		M2対象
MADS2102	春	演習A-1	ADS601-79J00	2	安納 佳子		M2対象、地球環境学専攻「演習/SEMINAR B」と合併
MADS2103	春	演習A-1	ADS601-79J00	2	ゴンサルベス タッド		M2対象
MADS2104	春	演習A-1	ADS601-79J00	2	堀江 哲也		M2対象
MADS2105	春	演習A-1	ADS601-79J00	2	倉田 正光		M2対象
MADS2106	春	演習A-1	ADS601-79J00	2	矢入 郁子		M2対象
MADS2107	春	演習A-1	ADS601-79J00	2	山中 高夫		M2対象
MADS2108	春	演習A-1	ADS601-79J00	2	山下 遼		M2対象
MADS2201	秋	演習A-2	ADS602-79J00	2	大槻 東巳		M2対象
MADS2202	秋	演習A-2	ADS602-79J00	2	安納 佳子		M2対象、地球環境学専攻「演習/SEMINAR B」と合併
MADS2203	秋	演習A-2	ADS602-79J00	2	ゴンサルベス タッド		M2対象
MADS2204	秋	演習A-2	ADS602-79J00	2	堀江 哲也		M2対象
MADS2205	秋	演習A-2	ADS602-79J00	2	倉田 正光		M2対象
MADS2206	秋	演習A-2	ADS602-79J00	2	矢入 郁子		M2対象
MADS2207	秋	演習A-2	ADS602-79J00	2	山中 高夫		M2対象
MADS2208	秋	演習A-2	ADS602-79J00	2	山下 遼		M2対象
MADS2301	春	演習B-1	ADS603-79J00	2	大原 佳子		M2対象
MADS2302	春	演習B-1	ADS603-79J00	2	百瀬 公朗		M2対象
MADS2303	春	演習B-1	ADS603-79J00	2	小林 裕亨		M2対象
MADS2304	春	演習B-1	ADS603-79J00	2	伴 果純		M2対象
MADS2305	春	演習B-1	ADS603-79J00	2	深澤 佑介		M2対象
MADS2401	秋	演習B-2	ADS604-79J00	2	大原 佳子		M2対象
MADS2402	秋	演習B-2	ADS604-79J00	2	百瀬 公朗		M2対象
MADS2403	秋	演習B-2	ADS604-79J00	2	小林 裕亨		M2対象
MADS2404	秋	演習B-2	ADS604-79J00	2	伴 果純		M2対象
MADS2405	秋	演習B-2	ADS604-79J00	2	深澤 佑介		M2対象
MADS7010	1Q	プログラミングA (SQL)	ADS503-79J00	1	大原 佳子		
MADS7020	2Q	プログラミングB (R)	ADS504-79J00	1	大原 佳子		
MADS7030	2Q	プログラミングC (Python基礎)	ADS505-79J00	1	*山下 加奈恵		
MADS7040	3Q	プログラミングD (Python応用)	ADS506-79J00	1	*山下 加奈恵		
MADS7050	1Q	データエンジニアリング概論	ADS507-79J00	1	*澤井 司		
MADS7060	2Q	データエンジニアリング実践	ADS508-79J00	1	*澤井 司		
MADS7070	春	データサイエンス数学	ADS509-79J00	2	大槻 東巳		
MADS7080	春	データの可視化と分析	ADS510-79J00	2	山下 遼		
MADS7090	春	機械学習入門	ADS511-79J00	2	山中 高夫		
MADS7100	休講	深層学習の基礎と応用	ADS512-79J00	2	安納 佳子		
MADS7120	春	データリスクマネジメント	ADS514-79J00	2	百瀬 公朗		
MADS7130	秋	情報通信産業とデータサイエンス	ADS515-79J00	2	矢入 郁子		
MADS7140	春	予測モデル構築	ADS516-79J00	2	大原 佳子		
MADS7150	秋	ビッグデータナリティクス	ADS517-79J00	2	大原 佳子		
MADS7160	秋	プロセスマイニング原論	ADS518-79J00	2	百瀬 公朗		
MADS7170	春	生産性と企業価値のマネジメント	ADS519-79J00	2	小林 裕亨		
MADS7180	休講	AI倫理とバイアス	ADS520-79J00	2			
MADS7190	春	ビジネス最適化のための人工知能	ADS521-79J00	2	ゴンサルベス タッド		
MADS7200	春	マーケティング&コミュニケーション戦略マネジメント	ADS522-79J00	2	伴 果純		
MADS7210	春	ブランド戦略マネジメント	ADS523-79J00	2	伴 果純		
MADS7220	秋	戦略思考と意思決定	ADS524-79J00	2	小林 裕亨		
MADS7240	秋	政策・事業評価	ADS526-79J00	2	倉田 正光		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専任教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MADG7320	春	ビジネスデータサイエンス入門	ADS527-79J00	2	深澤 佑介		
MADG7330	春	情報推薦とパーソナライゼーション	ADS528-79J00	2	深澤 佑介		
MADG7340	秋	データサイエンスとイノベーション	ADS529-79J00	2	深澤 佑介		
MADG7350	春	計量経済学特論Ⅰ	ADS552-79J00	2	(他) 高橋 雅生		
MADG7360	秋	計量経済学特論Ⅱ	ADS553-79J00	2	(他) 長江 亮		
MADG7550	秋	計量経済学特論Ⅲ	ADS570-79J00	2	未定		
MADG7370	休講	テキストマイニング概論	ADS554-79J00	2			
MADG7380	春	高次元データ実用分析	ADS556-79J00	2	*高枝 佳男		
MADG7410	秋	知的財産の基礎と実践(特許になる発明の創作)	ADS557-79J00	2	*川北 喜十郎 *鈴木 仁志		輪講
MADG7420	秋	機械学習実践	ADS558-79J00	2	*倉島 健 *山本 登平		輪講、秋学期集中
MADG7430	秋	自然言語処理と言語モデル	ADS559-79J00	2	*川前 徳章		
MADG7440	春	データドリブントランスフォーメーション	ADS560-79J00	2	小林 裕亨		旧「データドリブンマネジメント」
MADG7450	秋	機械設計とデータ分析	ADS561-79J00	2	竹原 昭一郎、他		輪講
MADG7470	秋	コミュニケーションダイナミクス	ADS562-79J00	2	*玉川 大輔 *木村 俊介		輪講
MADG7480	秋	変革型リーダーシップ	ADS563-79J00	2	*藤本 和俊 *小澤 紀克		輪講
MADG7500	秋	生成AI時代における「データ駆動型のリーン事業創造」	ADS565-79J00	2	*奥田 晋 *金子 亮彦		輪講
MADG7510	2Q	先導志向の因果的モデリング実践 ベイジアンネットワークと生成AI活用	ADS566-79J00	1	*安松 健 *木村 陽一 *宮本 圭介		輪講、2Q集中
MADG7520	4Q	データ活用の成功率・成果を高める課題設定手法:因果連鎖分析	ADS567-79J00	1	*小野 義之		
MADG7530	4Q	生成AI概論およびビジネス応用	ADS568-79J00	1	*藤生 弘郷		
MADG7540	2Q	先端技術によるLLMシステム開発手法論	ADS569-79J00	1	*森重 真純		2Q集中講義
MADG7560	秋	マーケティングリサーチによる消費者理解	ADS564-79J00	2	伴 果純		旧「データドリブンマーケティング」
MADG7250	休講	市場と環境へのデータサイエンスアプローチ	ADS605-79J00	2	堀江 哲也		
MADG7260	春	データビジネス実践1(金融)	ADS606-79J00	2	*高橋 佐良人 *藤本 浩司		輪講
MADG7270	3Q	データビジネス実践2(通信)	ADS607-79J00	1	*近藤 裕司		
MADG7280	4Q	データビジネス実践3(スポーツ・スポーツビジネス)	ADS608-79J00	1	*羽物 俊樹		
MADG7290	1Q	データビジネス実践4(製造)	ADS609-79J00	1	*山田 篤伸		
MADG7390	3Q	データビジネス実践6(広告・メディア)	ADS614-79J00	1	*宮藤 卓志、他		輪講
MADG7400	休講	データビジネス実践7(コンサルティング)	ADS615-79J00	2			輪講、連携講座
MADG7460	春	データビジネス実践(メディア)	ADS616-79J00	2	渡邊 悟		
MADG7490	3Q	データビジネス実践(CX戦略に向けたデータ活用)	ADS617-79J00	1	*木田 浩理、他		輪講
MADG7570	4Q	データアナリティクス・AI実践	ADS71-79J00	1	大原 佳子、深澤 佑介		輪講
MADG7580	2Q	規模問題とライフサイクルアセスメント	ADS72-79J00	1	*坂間 弘		
MADG7310	春	インターンシップ	ADS611-79J00	2	百瀬 公朗		
MADG7311	秋	インターンシップ	ADS611-79J00	2	百瀬 公朗		
MADG9000	秋	特定課題	ADS613-79J00	0	大槻 東巳、他		M2対象

連携科目の一覧は「2. 授業科目の編成・単位」を確認すると共に、開講期や担当者等の詳細は開講所属のページを確認すること。

演習A-1、A-2、B-1、B-2 登録コード一覧

科目名・対象 開講期	演習A-1	演習A-2	演習B-1	演習B-2
	登録コード	登録コード	登録コード	登録コード
担当教員				
大概 東巳	MADS2101	MADS2201		
安納 住子	MADS2102	MADS2202		
ゴンサルベス タッド	MADS2103	MADS2203		
堀江 哲也	MADS2104	MADS2204		
倉田 正充	MADS2105	MADS2205		
矢入 郁子	MADS2106	MADS2206		
山中 高夫	MADS2107	MADS2207		
山下 遥	MADS2108	MADS2208		
百瀬 公明			MADS2302	MADS2402
大原 佳子			MADS2301	MADS2401
小林 裕享			MADS2303	MADS2403
伴 果純			MADS2304	MADS2404
深澤 佑介			MADS2305	MADS2405

6. 研究指導一覧表

研究指導一覧表[応用データサイエンス学位プログラム]

ナンバリング	担当教員名	備考
ADS612-62j00	大槻 東巳	
	安納 住子	
	ゴンサルベス タッド	
	堀江 哲也	
	倉田 正充	
	矢入 郁子	
	山中 高夫	
	山下 遥	

叡智が世界をつなぐ

Sophia – Bringing the World Together